



- ①発芽後、10～15cmぐらいに育ってきたら“芽かき”をする。
片手で株の根元を押さえながら、欠く芽の根元をつかんで種芋からはがすようにゆっくりと引き抜き、大きな芽を2～3本残す。



- ②株と株の間に補い（米ぬかと油かすを1：1で混ぜたものを撒く）をする。
その際、株から15～20cm離れた所に撒く。また、葉に付着した補いは手や草などでやさしく払い落とす。
※葉に付着すると光合成ができなくなったり、葉が焼けてしまうので必ず払い落とすこと！



にんじんの“間引き”



前回蒔いたにんじんの種からたくさんの芽が出た！このままでは密植しすぎているので間引きをする。